

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公表番号】特表2004-513179(P2004-513179A)
 【公表日】平成16年4月30日(2004.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報2004-017
 【出願番号】特願2002-541114(P2002-541114)
 【国際特許分類】

C 0 7 J 41/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 J 41/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年10月8日(2008.10.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

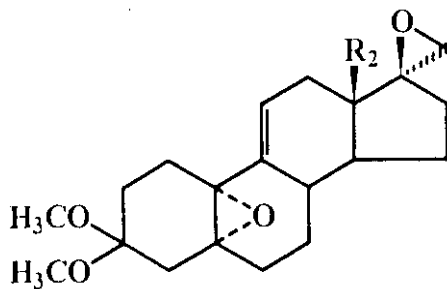
【0021】

(式中、 R_2 は C_{1-4} アルキルである)

の3,3-ジメトキシ-5,10-エポキシ-エストル-9(11)-エン-17-オンを溶媒、例えば、ジメチルスルホキシド(DMSO)、ジメチルホルムアミド(DMF)またはトルエン中において活性メチレン試薬(例えば、ヨウ化トリメチルスルホニウム、および強塩基、例えば、カリウム-t-ブタノラートまたは水酸化カリウムから製造された)で、式(IX)

:

【化17】

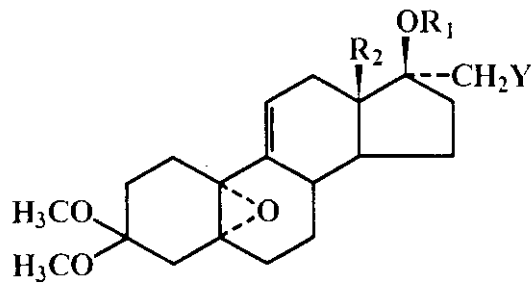


(IX)

(式中、 R_2 は前述の意味を有する)

の5,10-エポキシ-17(S)-スピロエポキシドに変換し、これを、アルカリまたはアルカリ土類アルコラートによる、好ましくはナトリウムメタノラートによる、アルカリ水酸化物またはカリウム-t-ブタノラートの存在下にアルキルメルカプタンによる、あるいは、溶媒、例えば、メタノール、DMFまたはDMSO中においてアルカリ、好ましくはカリウム-t-ブタノラートの存在下にアルカリメルカプチドまたはペルフルオロアルキルアルコールを使用する直接的開裂による、17-スピロエポキシ基の位置選択的または立体選択的切り離しを実施した後、開環して、式(X) :

【化 18】



(X)

(式中、YはO C₁₋₆アルキル基、S C₁₋₆アルキル基またはOCH₂C_nF_{2n+1}基であり、ここでnは1、2または3であり、R₁は水素原子であり、そしてR₂は前述の意味を有する)

の17 - 置換化合物を生成し、これを必要に応じて不活性溶媒、例えば、エーテル、THFまたはトルエン中において強塩基、例えば、水酸化カリウム、アルコラート、例えば、カリウム - t - ブタノラート、銀フッ化物、アルカリ金属またはナフタレンまたはビフェニルの存在下に17 - ヒドロキシル基とハロアルキル化合物またはハロアルキルフルオライド (ハロゲン = Cl、BrまたはI) との反応により、式中R₁がC₁₋₆アルキル基またはC_nF_{2n+1}基であり、ここでnが1、2または3であり、そしてR₂およびYが前述の意味を有する式 (X) の17 - エーテルまたは17 - フルオロアルキルエーテルに変換する。式 (X) の化合物を - 35 ~ 温室において4 - プロモベンズアルデヒドケタール、例えば、4 - プロモベンズアルデヒド - 1,1 - エチレンケタールまたは4 - プロモベンズアルデヒド - 1,1 - ジメチルケタール、マグネシウムおよびCu(I)Clと反応させて、式 (XI) :